

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	合同会社Rapid Rise 放課後等デイサービス ラーテルクラブ大牟田		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 13日		～ 令和6年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 13日		～ 令和6年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門のトレーナーによる運動療育を取り入れることにより、本格的でより幅の広い支援を行うようにしている。	楽しみながら無理のないトレーニングを行い、体幹やバランス感覚等を強化しながら身体能力及び社会適応能力の向上を目指している。	今後は、チームで取り組んだり2人一組で行うなど児童が楽しみながら参加できるよう支援して行く。
2	多彩なプログラムを実施していくことにより、表現力や自己肯定感、コミュニケーション能力の向上等に繋がるよう支援している。	色々な体験や経験が出来るよう、多種多様な室内プログラムや外出プログラム案を話し合い、充実した支援が出来るように工夫している。	学習や物作り等だけではなく、児童が興味を引きそうな調理訓練や化学実験・外部講師によるプログラム等を行うことにより、さらに充実した支援を行って行く。
3	広い空間で行う運動や遊びを通して、人間関係の構築・経験等5領域に繋がるような支援を意識的に行っていくことにより、児童の持っている能力の強化・充実を図っている。	楽しい雰囲気作りをしながら、児童がコミュニケーションを取りやすい環境作りを意識的に行うことにより、体力作りだけでなく健康的な精神育成にも力を入れ、児童の成長に繋がるよう行っている。	積極的に参加できるよう日々工夫をし、社会性やコミュニケーション能力の向上等に繋がるような支援をして行く。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	開業してまだ間がないこともあり、本やおもちゃ類などが少ない。	すべて新しく購入することが難しい。	予算を上げ新しく購入するだけでなく、知り合いに積極的に声掛けを行い不要なものがあれば譲って頂き活用する。
2	今後の利用予定者も含め、年齢層が小学校低学年の児童が多い。	新規申し込みの児童の多くが小学校低学年の児童が殆どの為、低学年の児童が多くなっている。	各関係機関との関係性を積極的に行い、幅広い年齢層の通所に繋がるよう働きかけ、今後、小学校高学年や中・高生の児童も増やして行くようにする。
3			